

まちの話題

輝く稲穂に実りを実感

根雨小学校稲刈り



協力しながら、稲刈りを進める

残暑厳しい秋晴れの下、根雨小学校（唐来秀夫校長、106人）の学校田で稲刈りが行われました。

地域住民が見守る中、参加した児童は高い気温の中、汗を流しながらかまを使って稲を刈りました。刈った稲は、はで干しにして作業を終えました。かまの使い方など指導を行った大田秀明教頭は「今年は稲も倒れることなく育ちました。稲刈り前に来た台風の影響もなく、豊作のようです」と笑顔。

刈ったのは、春に田植えをした「ヒメノモチ」という品種。もちつき大会を行い、収穫の喜びを分かち合います。

家庭の味を楽しんで
旬の野菜で漬物講習会



漬け方を教える講師の生田さん（左）

漬物の生産と販売の事業化に向けて活動している「つけもの百人会」が主催する、漬物講習会が9月17日に山村開発センターで、10月1日に町公民館で開かれました。

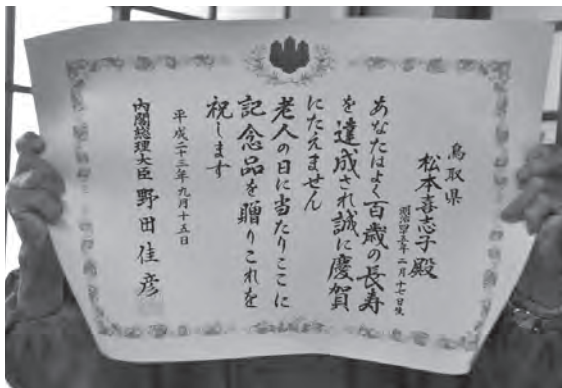
昨年開催した「つけもの名人コンテスト」で優秀な成績だった坂出清子さん（黒坂）と生田環さん（野田）が講師。坂出さんがはりはり漬を、生田さんがきゅうりのビール漬を伝授しました。

参加者は「実際に手順などを見ながら習えるのが良い。漬物を楽しみたい」などと話します。つけもの百人会事務局の梅林敏彦さん（下黒坂）は「少しずつ参加者が増えれば」と今後に期待しました。

▼あなたの声や地域・職場での話題をお寄せください。★役場企画政策課まで（電話72・0332）

元気でいてください

町が長寿を祝い、記念品贈る



内閣総理大臣からの祝状

町内の高齢者の長寿を祝おうと、9月16日、町から記念品が贈られました。

満100歳を迎えた別所の松本喜志子さんの家に景山町長が訪れ、内閣総理大臣と町からの記念品と祝状を手渡しました。

一緒に暮らす娘の一樹さんは「趣味はちぎり絵で農作業の合間に製作していました。そして母は尊敬する人。人との接し方など何事も教えてくれました。良い母親です」と振り返りました。

今回対象となったのは、満88歳を迎える42人と、満100歳を迎える1人の計43人です。

おめでとうございます
第55回鳥取県美術展覧会
県展に入選

●写真の部と日本画の部、書道の部に町内から次の皆さんが入選されました。

【写真の部】

- 無鑑査 生田英明さん（根雨）
- 奨励賞 長谷川利子さん（三土）
- 毛利智尋さん（根雨）
- 受賞候補 松本利秋さん（秋縄）
- 西村昌敏さん（根雨）
- 入選 牧田教介さん（黒坂）
- 岡本勝美さん（貝原）
- 大谷眞二さん（日野病院）

【日本画の部】

- 入選 頭本俊子さん（根雨）

【書道の部】

- 入選 植木正枝さん（根雨）

交流の場として期待

真住公民館と奥渡老人会が交流



三島道秀さんの講演に耳を傾ける

9月28日、下榎のリバーサイドひのでぼかぼかお出かけサーブिसが開かれ、今回は真住公民館と奥渡老人会が交流を行い、22人が参加しました。

午前中は、滝山公園や鶉の池散策のほか長楽寺の仏像を見学。午後からは泉龍寺（黒坂）の三島道秀さんによる命の大切さについての講演を聞きました。

参加者は「農繁期で人数が少なかったが、ぜひ今度は大勢で楽しみたい」「今回をきっかけとして、今後も交流を続けたい」と意欲を見せました。ぼかぼかお出かけサーブिसについては町地域包括支援センター（電話72・1852）まで。

平成の鏡山城建つ

黒坂鏡山城址に東屋建設



盛大に餅まきが行われる

10月10日、黒坂の鏡山城址東屋上棟式（黒坂鏡山城下を知ろう会主催）が開かれ、東屋建設を祝う地元の小中学生や住民ら約100人が集まりました。

建設を計画した同会の牧智也会長は「東屋が住民の憩いの場になってほしい。ヤマザクラも植えてあり、景色の良いところになる」とあいさつ。式典後は、餅まきがにぎやかに行われ、建設の安全を願いました。

東屋は城址の石垣のそばの城下町黒坂を一望できる場所に建てられています。これから1カ月ほどで建てられます。今後の活用が期待されます。

まちの文化財・史跡を歩く 其ノ二

■日野町歴史民俗資料館（旧根雨公会堂）



周りの緑によく映える、白壁に赤瓦の外観

現在、国の登録有形文化財に指定されている日野町歴史民俗資料館はたたら製鉄で財を成した近藤家の七代当主、近藤寿一郎が昭和15年に根雨公会堂として建設し、町に寄附したものです。

根雨のまちなかを見下ろす高台に位置するこの建物は、丈夫さと便利さを主眼とし、外観は周囲の民家との調和を考えて質素に、内装は最新文化の粋を集めた造りとしているのが特徴です。

玄関は、2本の円柱を並べたコロネード風（古代ローマなどの列柱による建築様式）。その上部にはモダンな照明がつけられ、白壁と赤瓦の純和風な外観と不思議な調和を見せています。

根雨公会堂は1200人を収容、講演や演劇、映画や舞踊などが行われ、まちの文化の殿堂として大いに活用されました。

昭和61年には、町歴史民俗資料館として新たに開館、昔の民具や貴重な歴史資料などを多く展示しています。

なお、現在は、改修工事のため休館しています。1階床を張り替え、床下も補強する予定です。来年1月ごろに再開予定です。生まれ変わる資料館にご期待ください。
（町文化センター 入沢）

【お願い】文化財の現状変更には届出が必要です

史跡や文化財について、樹木の伐採や工事など、保存について影響を及ぼす行為をするときは、現状変更の届出が必要となる場合があります。詳しくは、町文化センター（電話72・1300）までお問合せください。